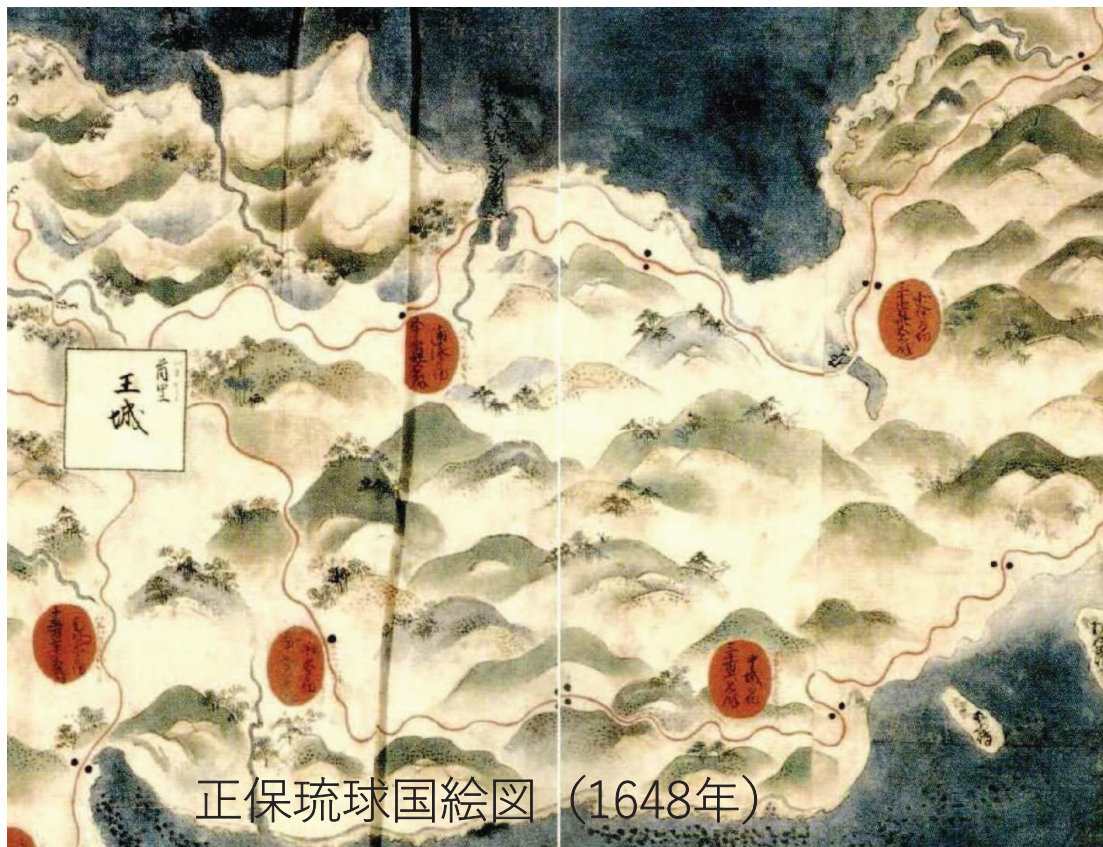




野嵩スディバナビラ石畳道 基本知識

- 平成元年 3 月 3 1 日 市指定史跡に指定される。（東側）
- 野嵩石畳道（当時の指定名称）は、近世琉球王府時代に整備された首里と間切を結ぶ公道、いわゆる「宿道」として築造されたものである。
- 「護佐丸・阿麻和利の乱（1458年）」の際に、阿麻和利の軍勢に敗れた護佐丸の妻子が、その石畳道を登って逃げきろうとするとき追手に射かけられた弓矢により彼女の袖が引き離されたことをもじって、「袖離れ坂（方言名スディバナビラ）」と呼ばれる。
- 令和 5 年 2 月 21 日、西側を市史跡に追加指定、その際に「野嵩スディバナビラ石畳道」と指定名称を改める。

平成元年頃
の石畳道
東側



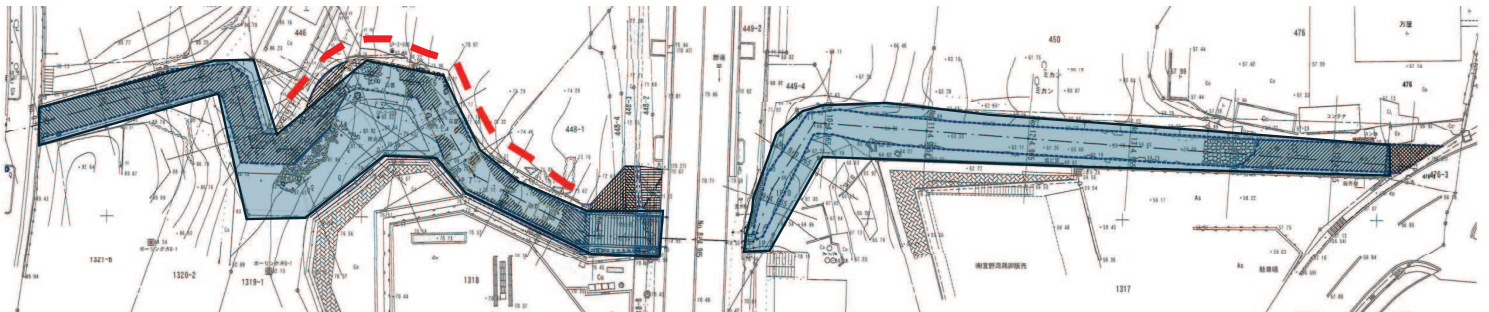
正保琉球国絵図 (1648年)

番所道の中の野嵩スディバナビラ石畳道

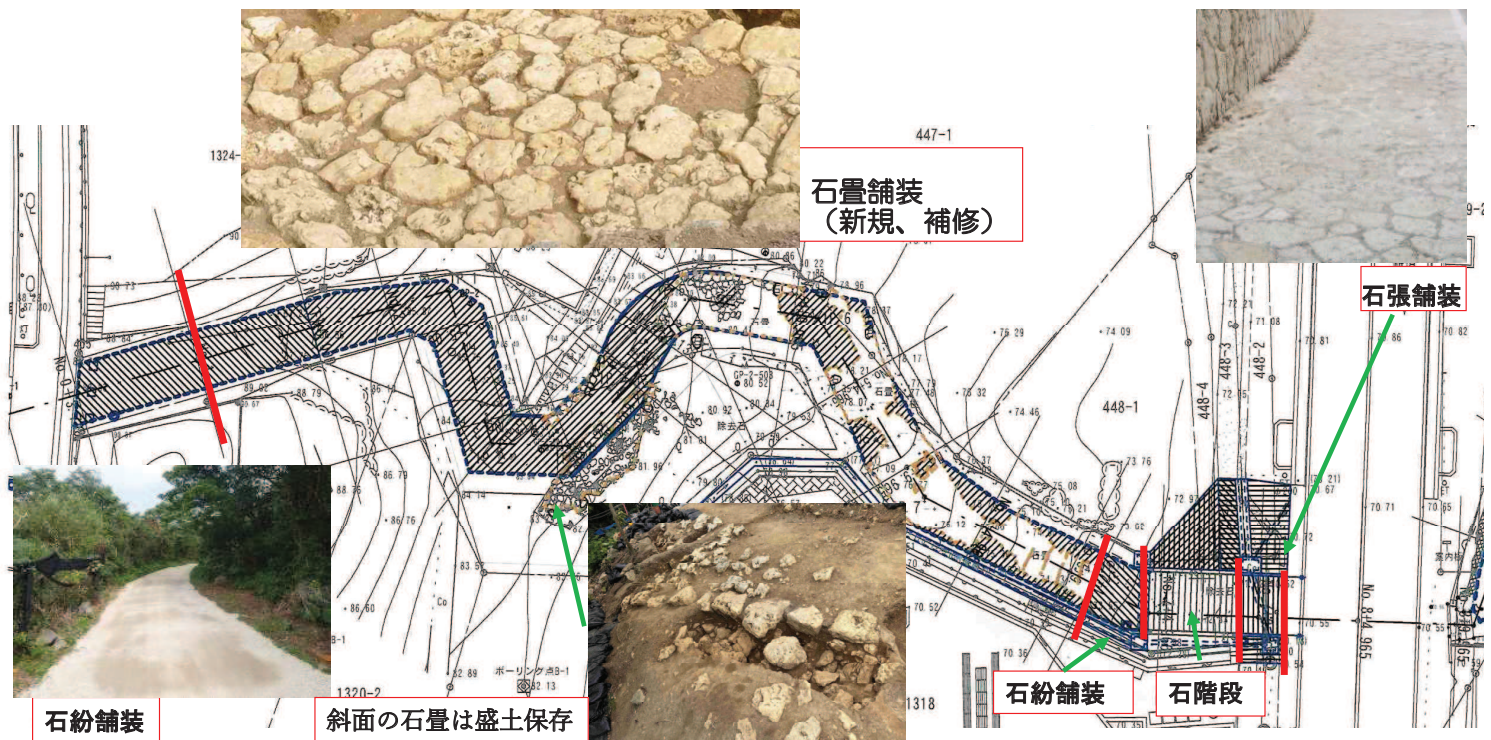




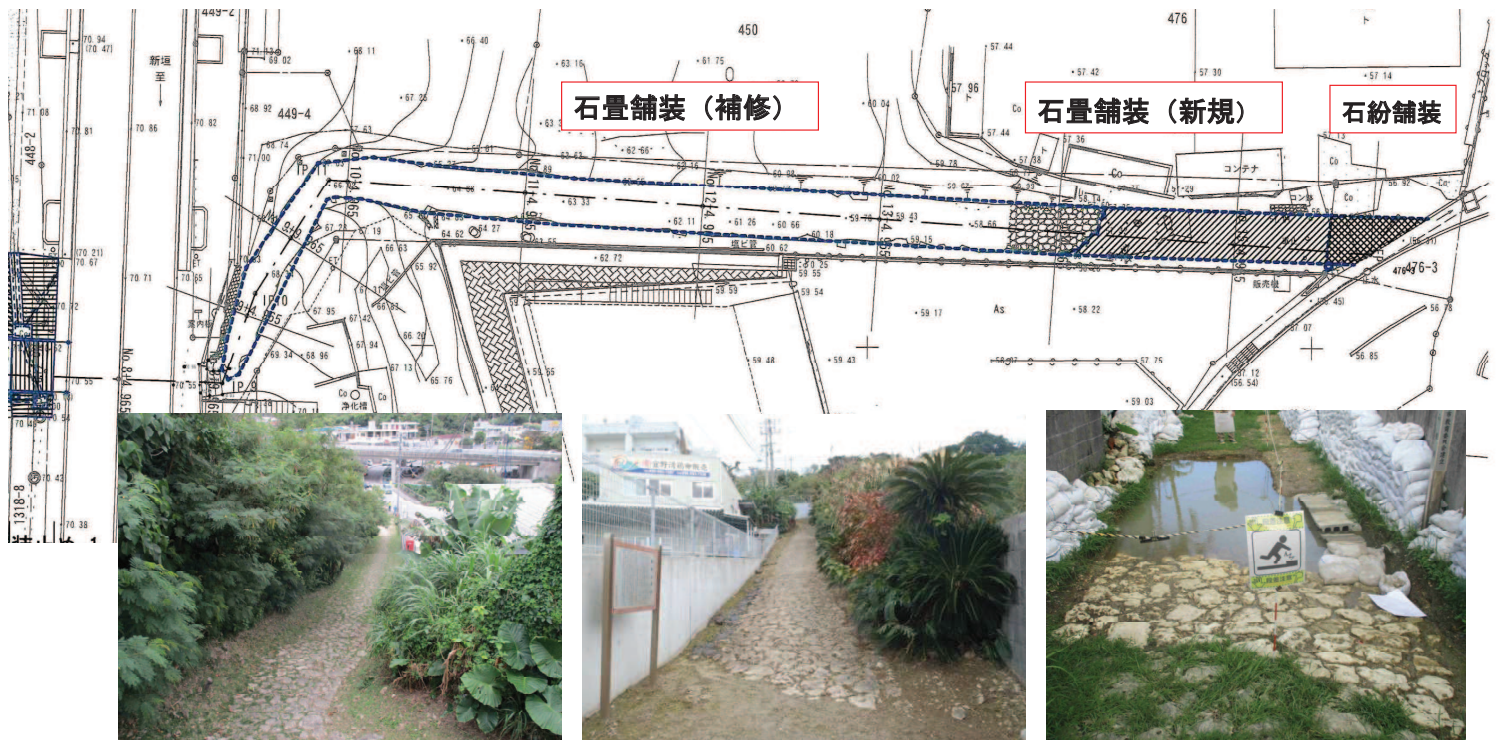
野嵩スディバナビラ石畳道整備



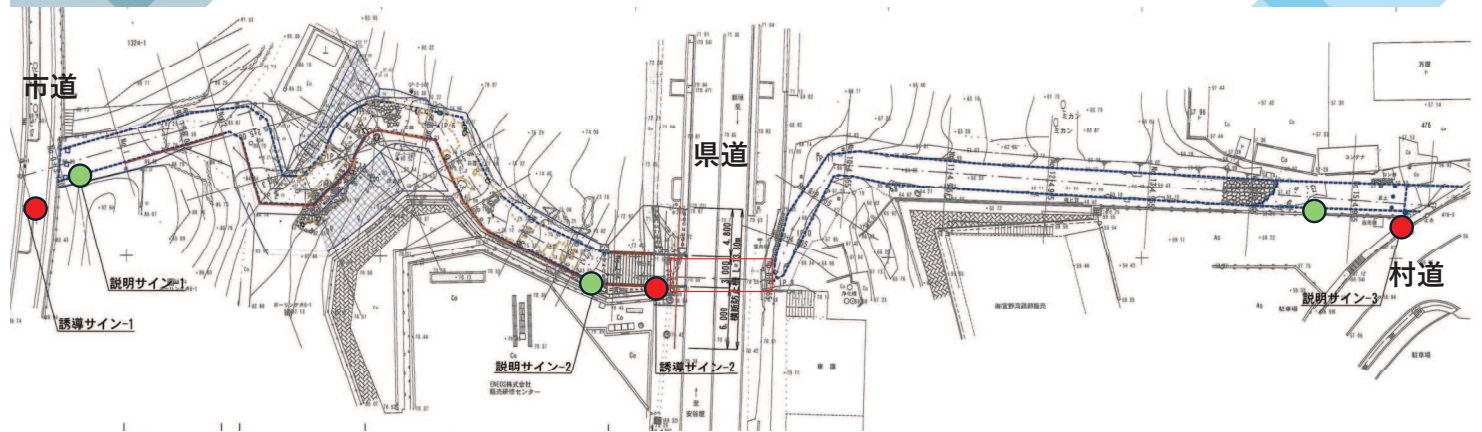
野嵩スディバナビラ石畳道整備 西側



野嵩スディバナビラ石畳道整備 東側



野嵩スディバナビラ石畳道整備



基東側斜面



県道

● 説明サイン ● 誘導サイン

市道、村道側に車止め 県道側にガードパイプ

ソテツ ゲットウ ヤブラン タマシダ ツワブキ

